

平成21年度宮城県外国人県民アンケート  
調査結果報告書（概要版）

平成22年8月

宮 城 県

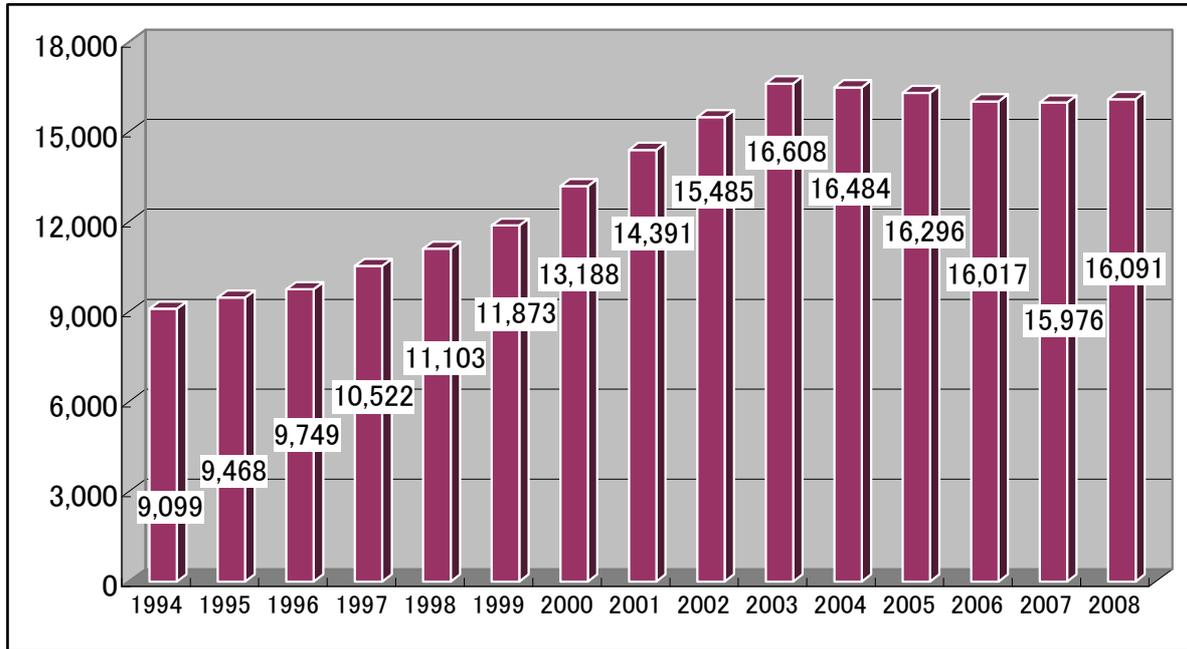
# 目 次

1	宮城県における外国人登録の状況	1
(1)	外国人登録者数の推移	
(2)	国籍別登録者数	
(3)	在留資格別登録者数	
(4)	年齢別登録者数	
(5)	男女別登録者数	
2	調査の概要	3
(1)	調査の目的	
(2)	調査対象	
(3)	調査方法	
(4)	調査期間	
(5)	調査票言語	
(6)	抽出方法	
(7)	抽出数	
(8)	調査項目	
(9)	地域別回収率	
(10)	言語別有効回収数	
3	調査結果の概要	5
(1)	基本属性	5
(2)	日常生活の満足度	6
(3)	言語	7
(4)	情報	9
(5)	居住	10
(6)	防災	11
(7)	医療・福祉	12
(8)	育児・教育	14
(9)	労働	16
(10)	社会生活一般	18
(11)	行政	20
4	まとめ	21

# 1 宮城県における外国人登録の状況

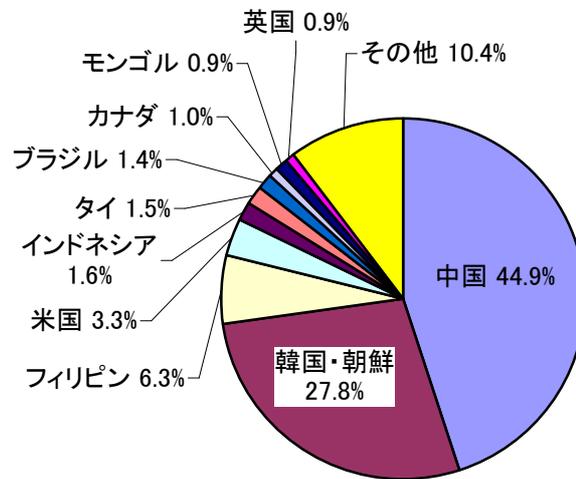
## (1) 外国人登録者数の推移

【出典】法務省「在留外国人統計」



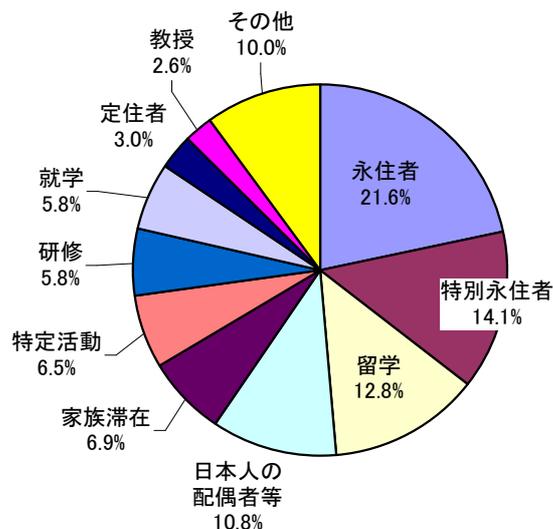
## (2) 国籍別登録者数 (2008年12月末現在)

1	中国	7,222
2	韓国・朝鮮	4,478
3	フィリピン	1,014
4	米国	536
5	インドネシア	263
6	タイ	247
7	ブラジル	220
8	カナダ	164
9	モンゴル	138
10	英国	137
-	その他	1,672
計		16,091



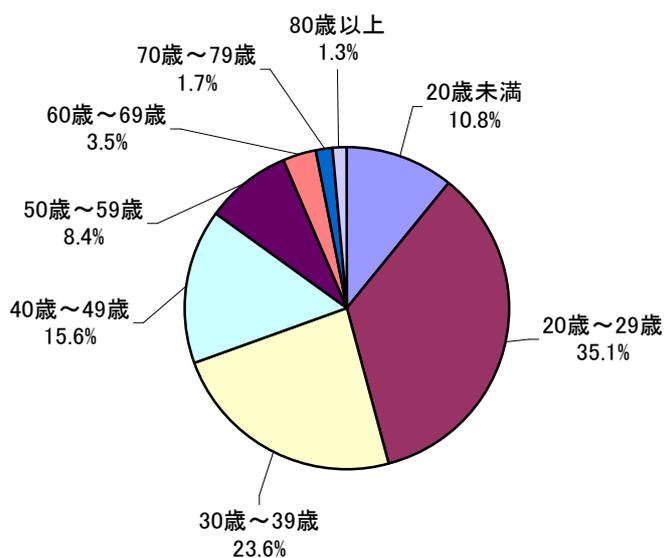
(3) 在留資格別登録者数 (2008年12月末現在)

1	永住者	3,471
2	特別永住者	2,270
3	留学	2,065
4	日本人の配偶者等	1,745
5	家族滞在	1,117
6	特定活動	1,043
7	研修	939
8	就学	926
9	定住者	483
10	教授	424
-	その他	1,608
計		16,091



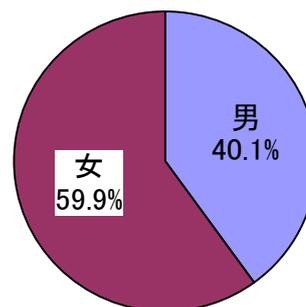
(4) 年齢別登録者数 (2008年12月末現在)

20歳未満	1,745
20歳～29歳	5,646
30歳～39歳	3,795
40歳～49歳	2,509
50歳～59歳	1,348
60歳～69歳	568
70歳～79歳	271
80歳以上	209
計	16,091



(5) 男女別登録者数 (2008年12月末現在)

男	6,445
女	9,646
計	16,091



## 2 調査の概要

### (1) 調査の目的

外国人県民の生活実態や社会環境，意識を把握し，今後の多文化共生の社会づくりを進める上での基礎データとする。

### (2) 調査対象

宮城県内の市町村に外国人登録のある20歳以上の県民

### (3) 調査方法

普通郵便による送付・回収（仙台市の一部は団体経由）

### (4) 調査期間

仙台市 平成21年12月17日～平成22年1月29日

仙台市以外 平成22年2月4日～平成22年3月24日

### (5) 調査票言語

日本語（ふりがなが付き），英語，中国語（簡体字），韓国語

### (6) 抽出方法

無作為抽出（仙台市の一部と仙台市以外は在留資格別の無作為抽出）

### (7) 抽出数

2,350人（抽出率14.60%）

#### 【地域別抽出数】

仙台市	1,500	多賀城市	38	加美町	14
仙南地域	116	岩沼市	20	涌谷町	11
白石市	24	亘理町	19	美里町	10
角田市	25	山元町	9	栗原地域	49
蔵王町	7	松島町	5	栗原市	49
七ヶ宿町	2	七ヶ浜町	9	登米地域	59
大河原町	13	利府町	13	登米市	59
村田町	5	大和町	23	石巻地域	155
柴田町	20	大郷町	4	石巻市	110
川崎町	6	富谷町	16	東松島市	14
丸森町	14	大衡村	4	女川町	31
仙台地域	252	大崎地域	130	気仙沼地域	89
塩竈市	51	大崎市	91	気仙沼市	68
名取市	41	色麻町	4	南三陸町	21
				宮城県合計	2,350

## (8) 調査項目

1 基本属性 (10問)	8 育児・教育 (10問)
2 日常生活の満足度 (2問)	9 労働 (7問)
3 言語 (5問)	10 社会生活一般 (7問)
4 情報 (1問)	11 行政 (3問)
5 居住 (2問)	12 自由意見
6 防災 (5問)	
7 医療・福祉 (4問)	(全 56 問)

## (9) 地域別回収率

	調査票配布数	回収数	うち有効回収	有効回収率
仙 台 市	1, 5 0 0	3 0 3	2 9 3	19.53%
仙台市以外	8 5 0	2 9 6	2 9 4	34.59%
仙南地域	1 1 6	4 5	4 5	38.79%
仙台地域	2 5 2	7 0	7 0	27.78%
大崎地域	1 3 0	3 6	3 6	27.69%
栗原地域	4 9	1 9	1 9	38.78%
登米地域	5 9	1 2	1 2	20.34%
石巻地域	1 5 5	5 9	5 8	37.42%
気仙沼地域	8 9	2 5	2 5	28.09%
無回答	—	3 0	2 9	—
宮城県合計	2, 3 5 0	5 9 9	5 8 7	24.98%

(注) 「回収数」には、20歳未満及び日本国籍取得者が一部含まれていたため、「有効回収」ではそれらを除外している。

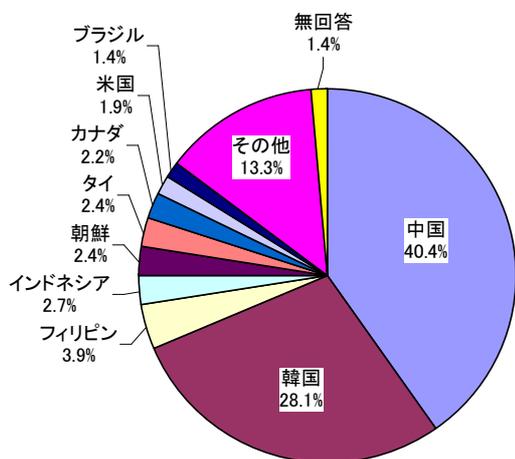
## (10) 言語別有効回収数

	日本語	英語	中国語	韓国語	計
仙 台 市	1 4 0	6 2	6 5	2 6	2 9 3
仙台市以外	1 4 4	4 2	6 5	4 3	2 9 4
仙南地域	2 4	9	6	6	4 5
仙台地域	4 1	1 1	4	1 4	7 0
大崎地域	1 3	8	7	8	3 6
栗原地域	1 1	1	3	4	1 9
登米地域	7	3	1	1	1 2
石巻地域	2 0	4	3 1	3	5 8
気仙沼地域	1 2	4	9	0	2 5
無回答	1 6	2	4	7	2 9
宮城県合計	2 8 4	1 0 4	1 3 0	6 9	5 8 7

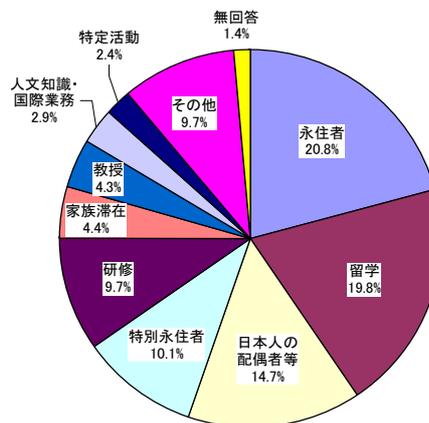
### 3 調査結果の概要

#### (1) 基本属性

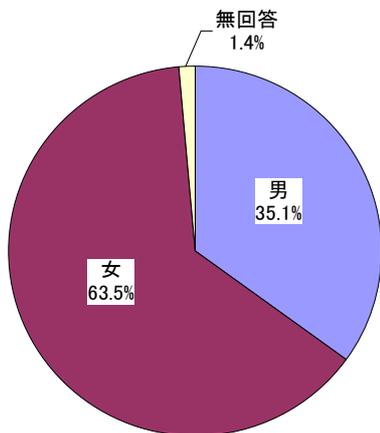
【回答者の国籍 (N = 587)】



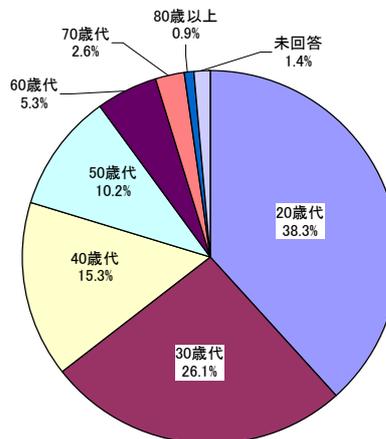
【回答者の在留資格 (N = 587)】



【回答者の性別 (N = 587)】



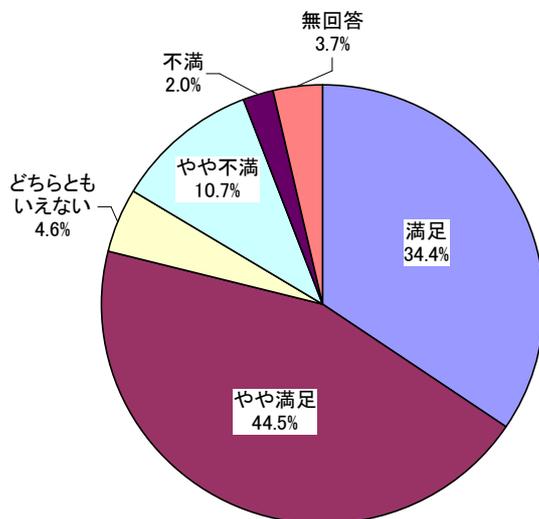
【回答者の年齢 (N = 587)】



## (2) 日常生活の満足度

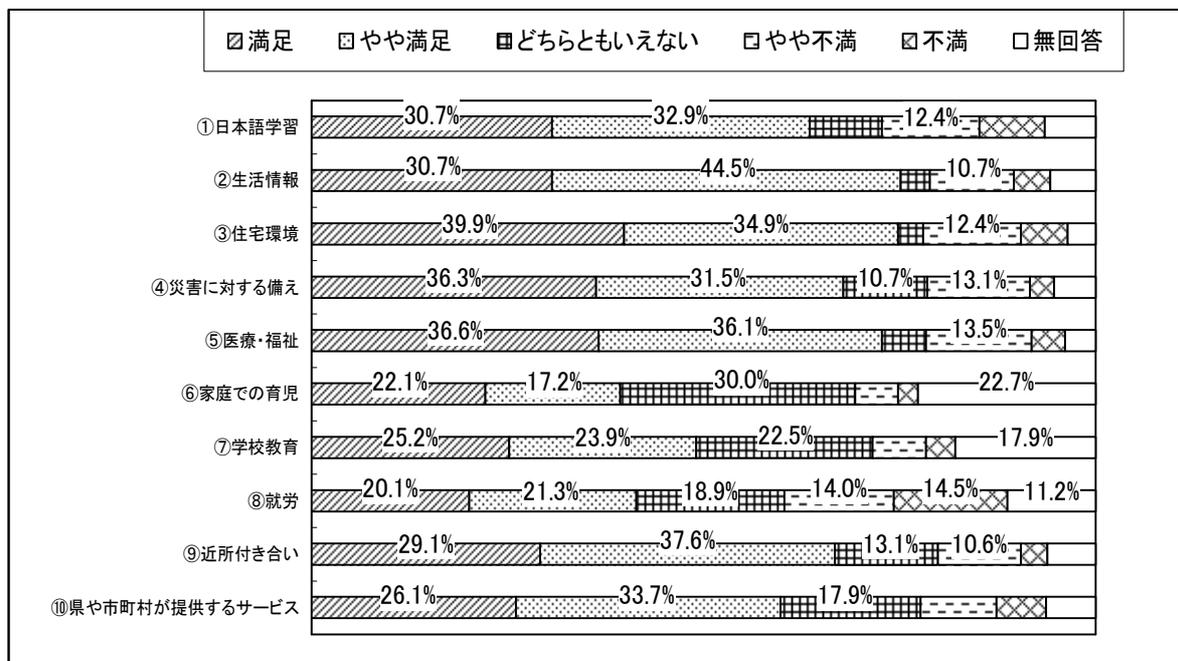
問 お住まいの地域の日常生活において、総合的にどのように感じていますか。

【日常生活の総合的な満足度 (N = 587)】



問 日常生活に関する次の個別の事柄について、どのように感じていますか。

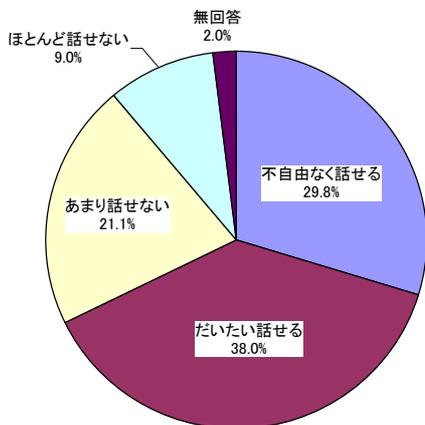
【日常生活に関する個別の事柄の満足度 (N = 587)】



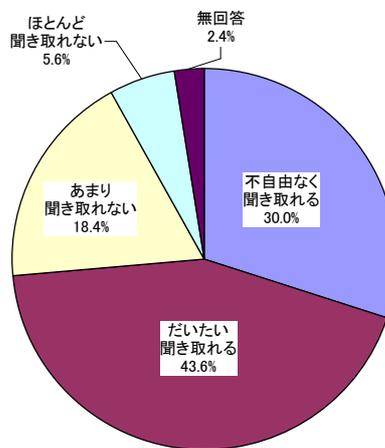
(3) 言語

問 あなたの日本語の能力をご自身で判断するとすれば、次のどれに当たりますか。

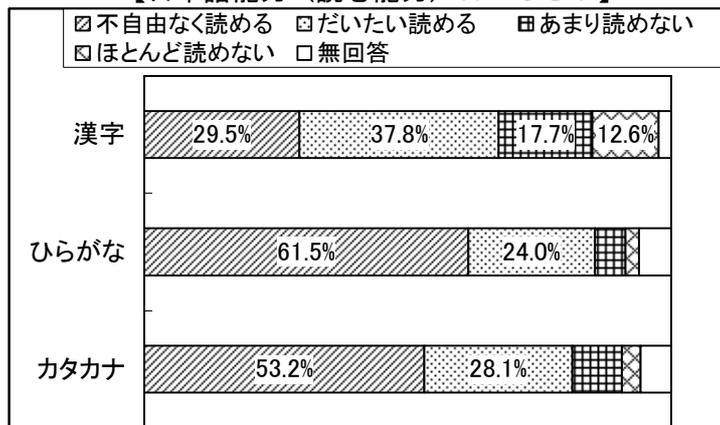
【日本語能力（話す能力） N = 587】



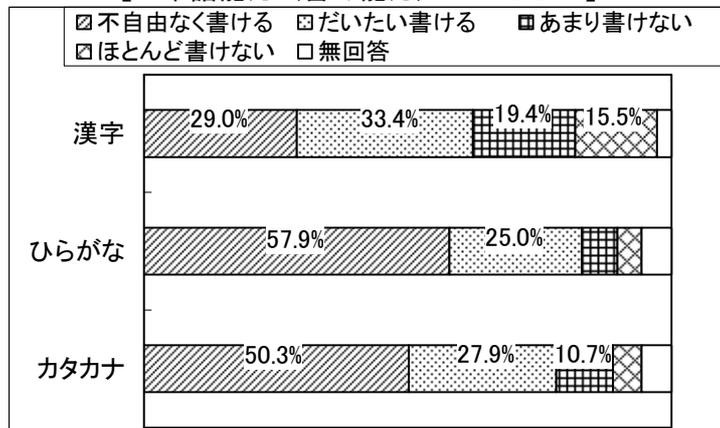
【日本語能力（聞く能力） N = 587】



【日本語能力（読む能力） N = 587】

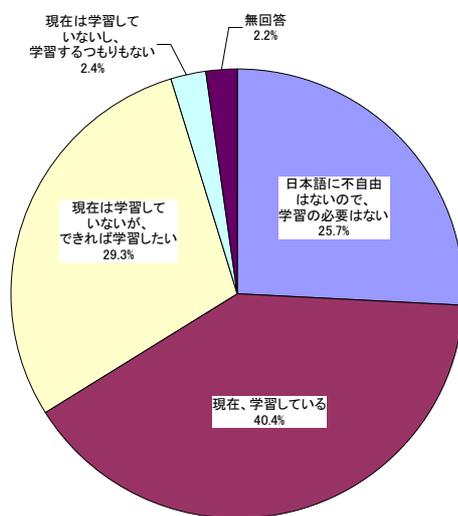


【日本語能力（書く能力） N = 587】



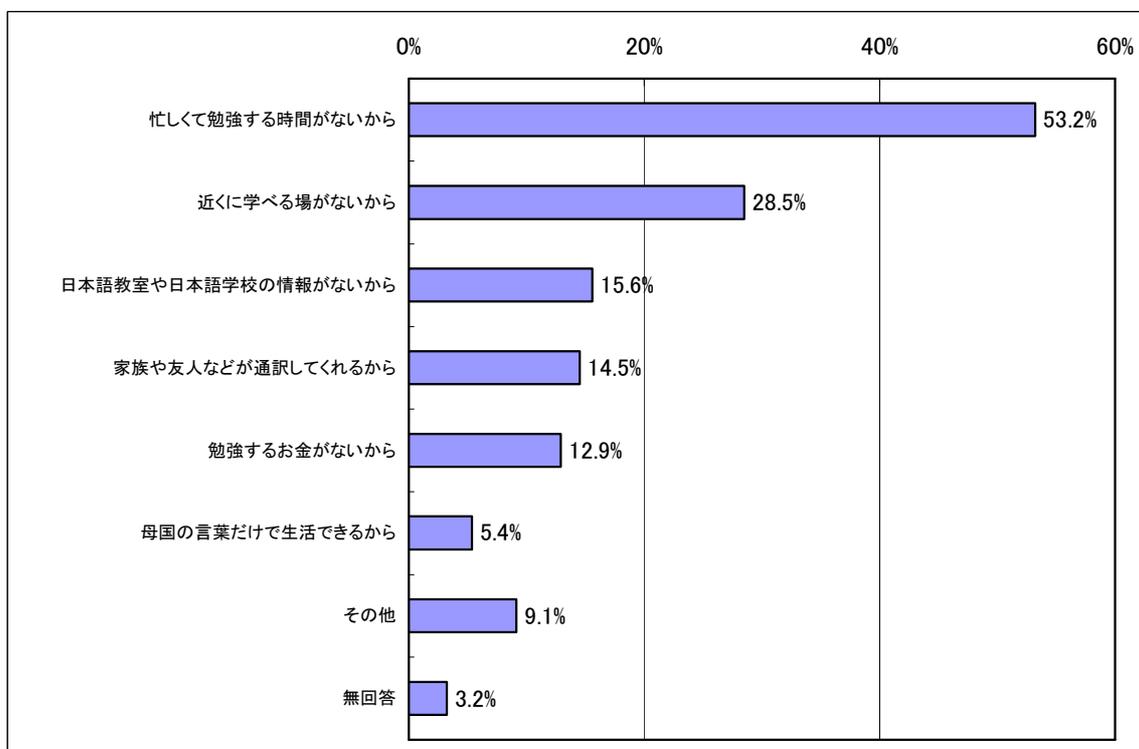
問 あなたの日本語の学習状況は以下のどれに当てはまりますか。

【日本語の学習状況 (N = 587)】



問 あなたが日本語を学ばない、学んでいない理由は何ですか。(複数回答)

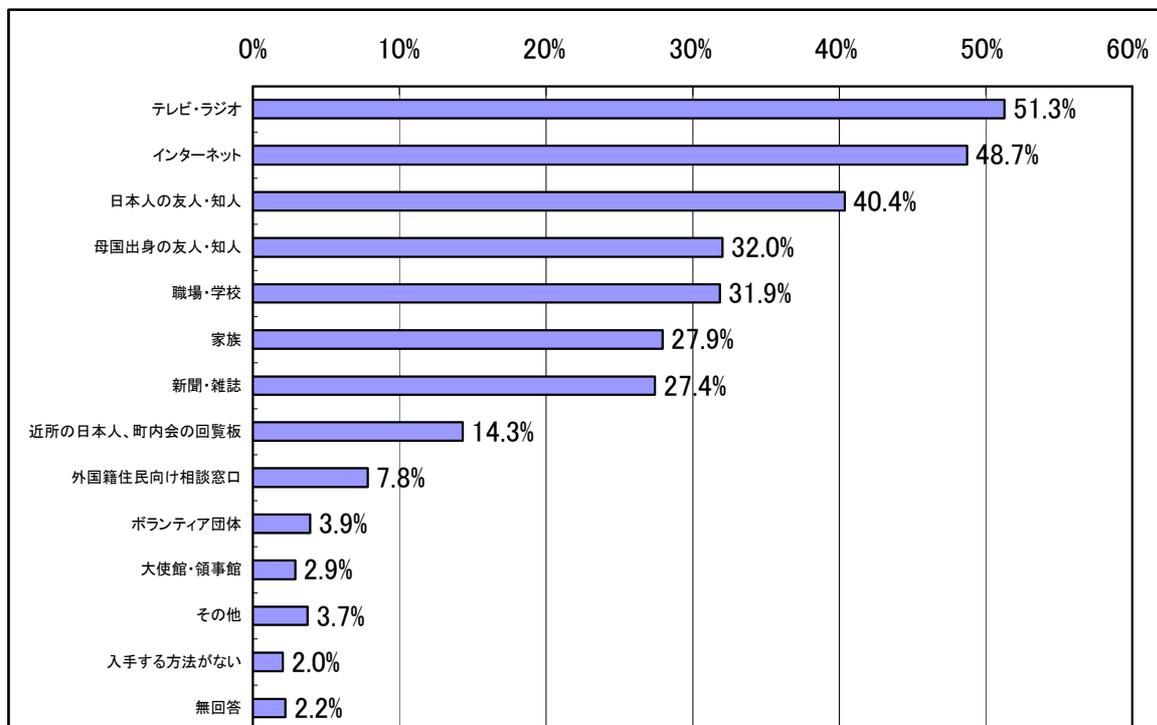
【日本語を学ばない理由 (N = 186)】



#### (4) 情報

問 生活に必要な情報をどこから得ていますか。(複数回答)

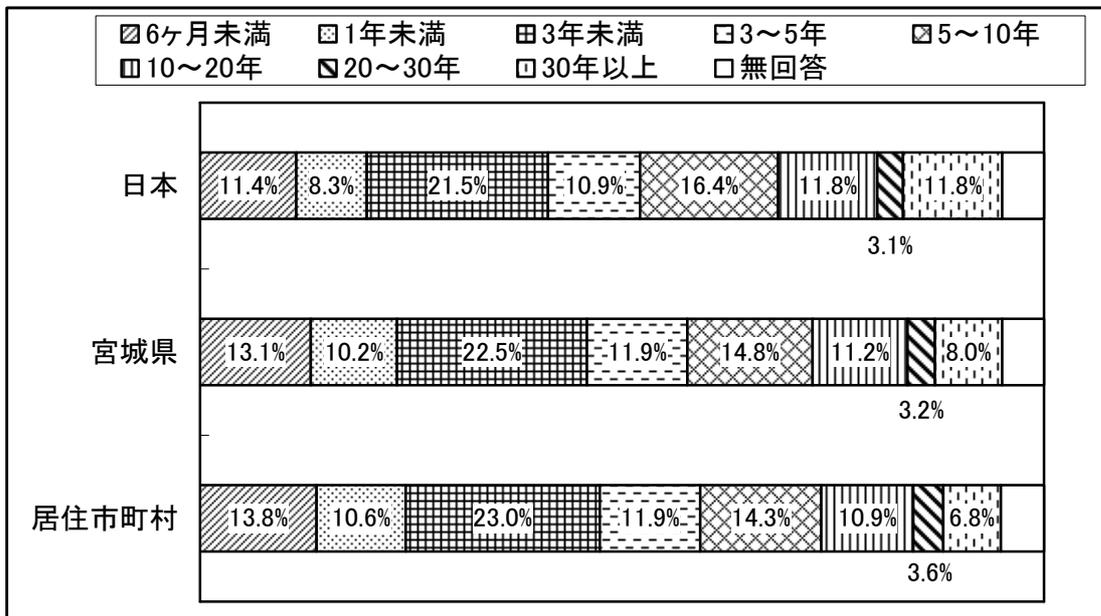
【生活に必要な情報の入手媒体 (N = 587)】



(5) 居住

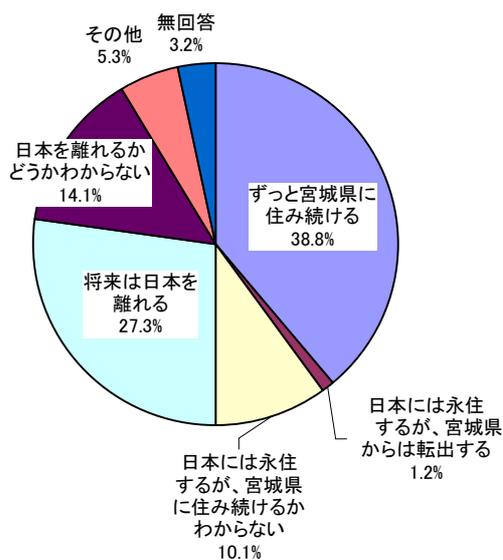
問 あなたは、通算してどのくらい住んでいますか。

【居住年数 (N = 587)】



問 あなたは今後どれくらい宮城県または日本に住もうと思っていますか。

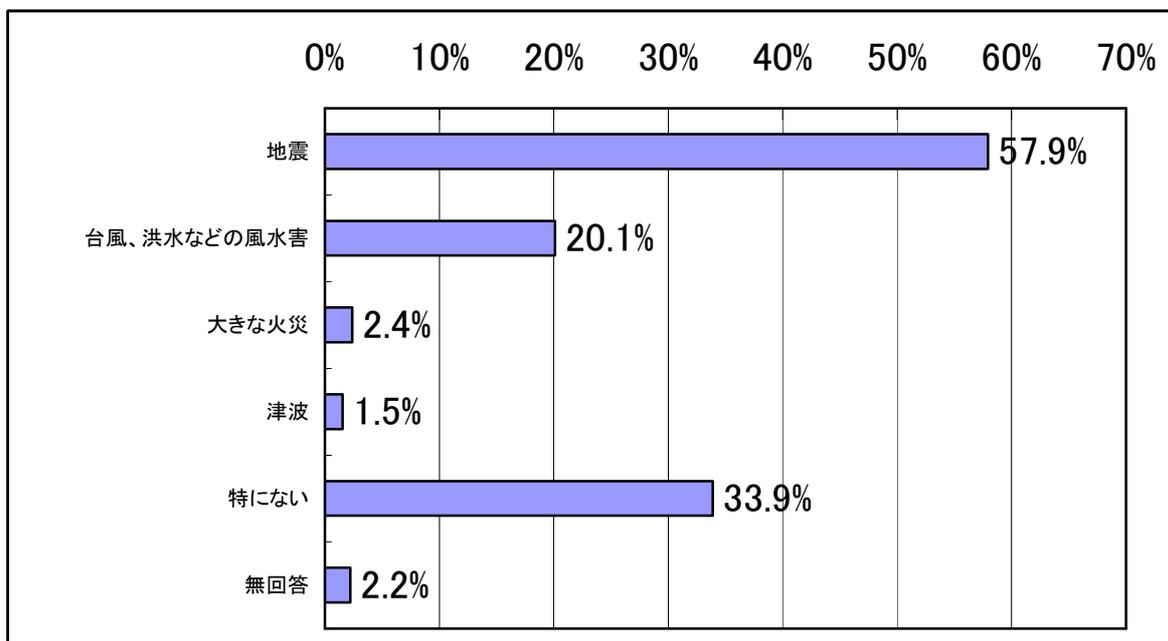
【今後の居住予定 (N = 587)】



(6) 防災

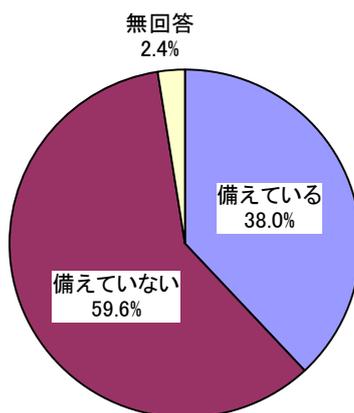
問 あなたは今までに災害を経験したことがありますか。(複数回答)

【被災経験 (N = 587)】



問 あなたは災害への備えを行っていますか。

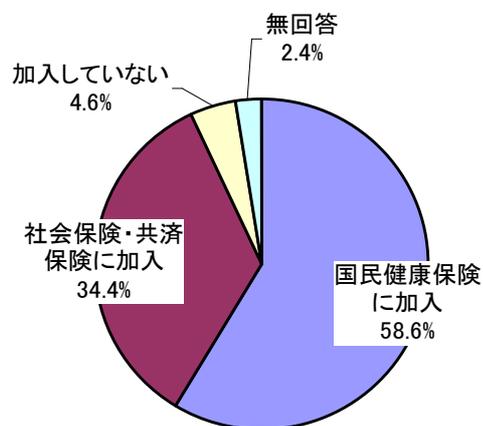
【災害への備え (N = 587)】



(7) 医療・福祉

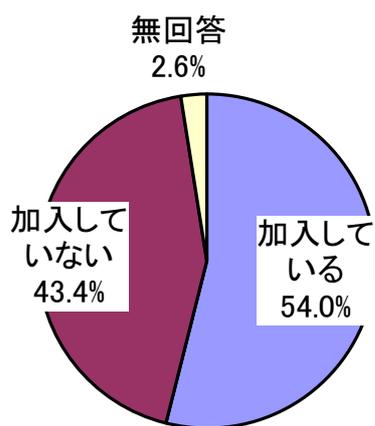
問 あなたは日本で健康保険に加入していますか。

【健康保険の加入状況 (N = 587)】



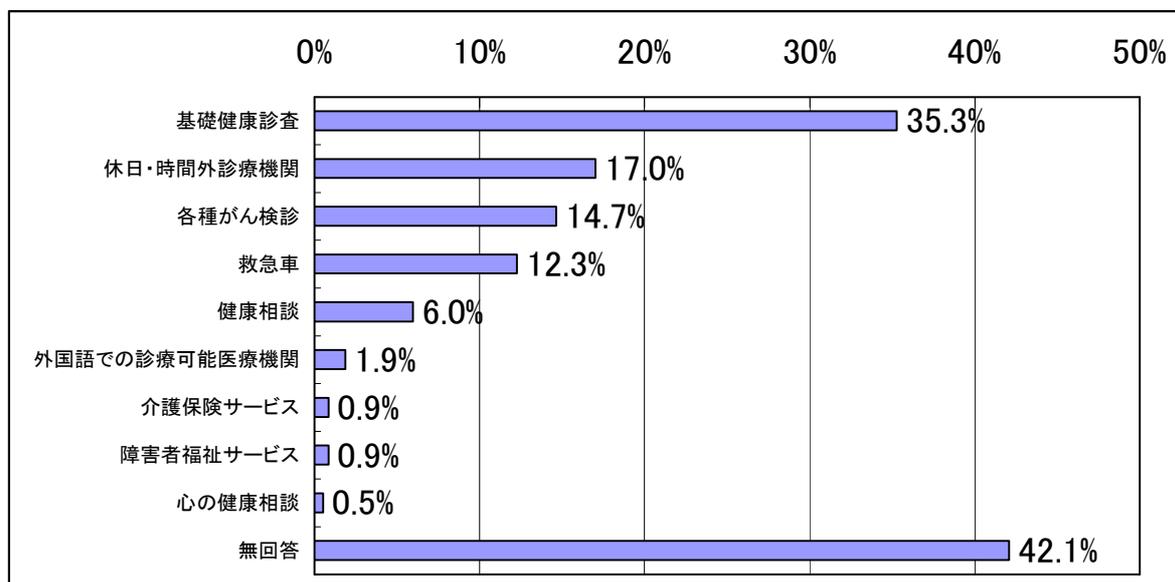
問 日本で公的年金 (国民年金または厚生年金) に加入していますか。

【公的年金の加入状況 (N = 587)】



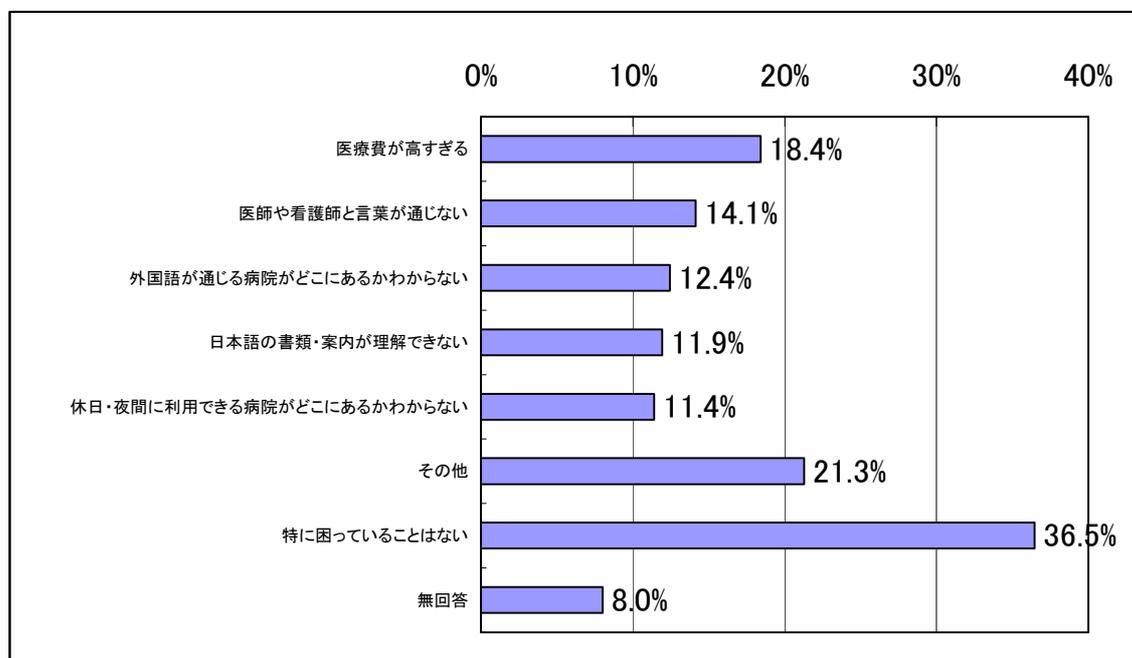
問 以下のような保健・医療・介護サービスを利用したことがありますか。(複数回答)

【保健・医療・介護サービスの利用経験 (N=587)】



問 あなたが病気になって病院に行くときに困ったことはありますか。(複数回答)

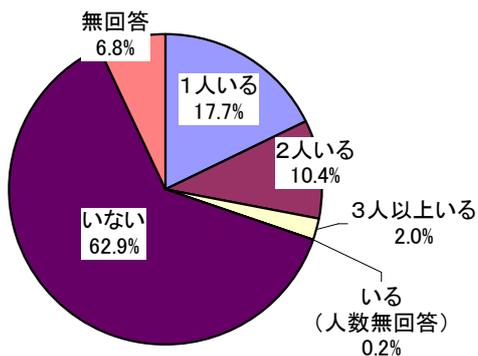
【病院で困った経験 (N=587)】



(8) 育児・教育

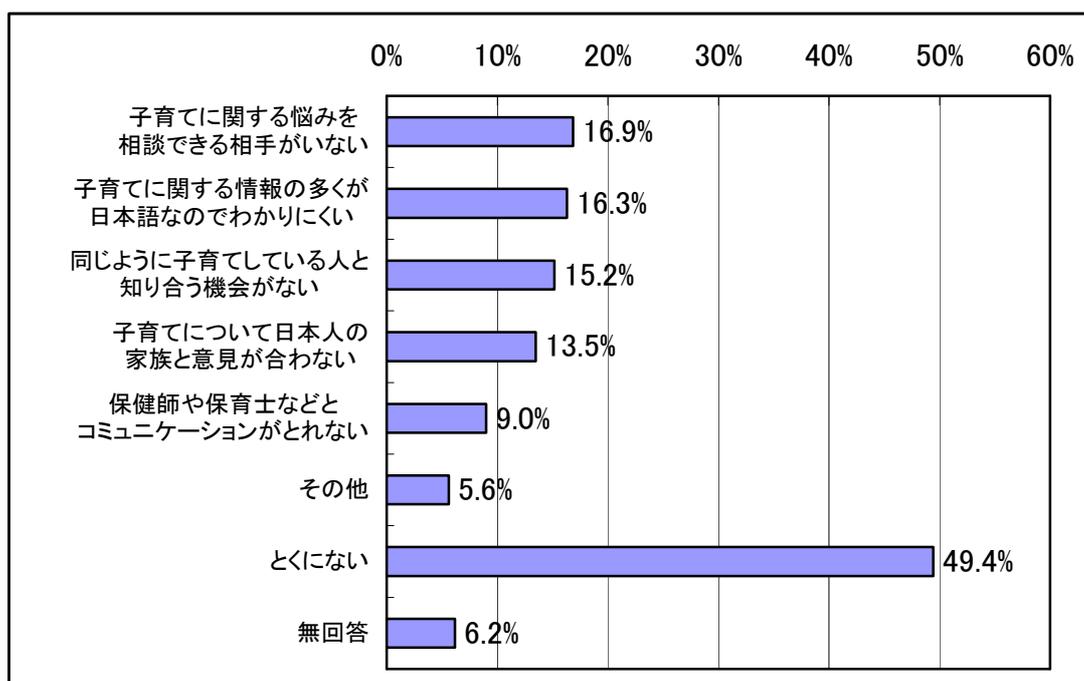
問 あなたには現在、18歳未満のお子さんがいますか。

【子ども有無と人数 (N=587)】



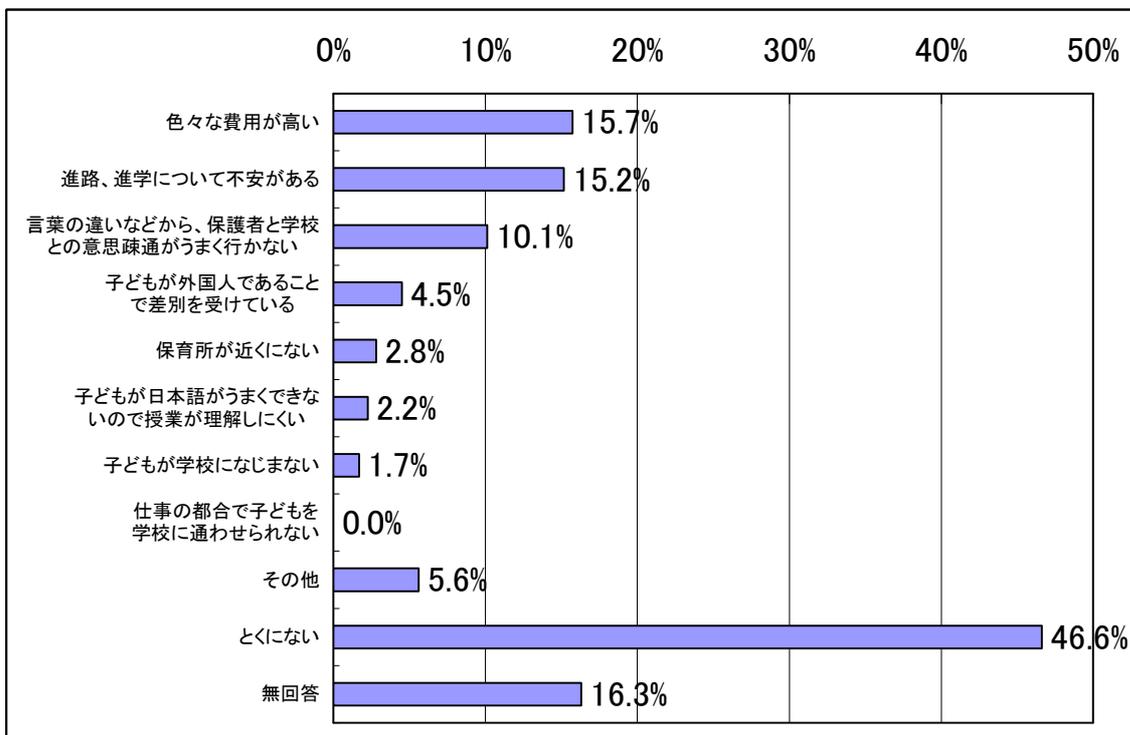
問 以下のようなことで困っていることはありますか。(複数回答)

【子育てで困っていること (N=178)】



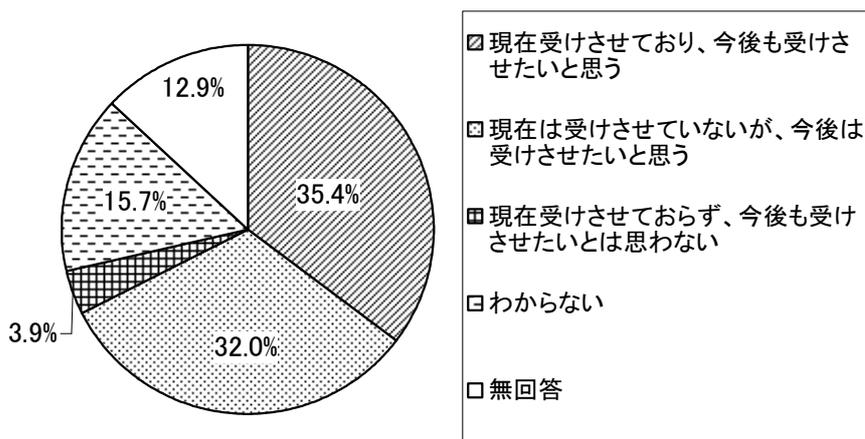
問 以下のようなことで困っていることはありますか。(複数回答)

【子どもの教育で困っていること (N=178)】



問 あなたはお子さんに母国の言葉や文化についての教育を受けさせたいと思いますか。

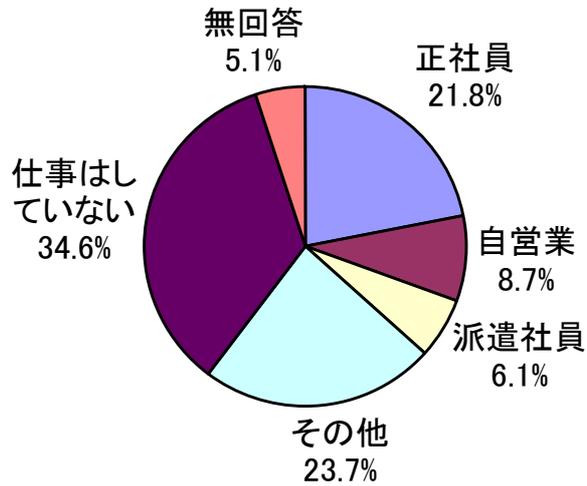
【母国語・母国文化の教育 (N=178)】



(9) 労働

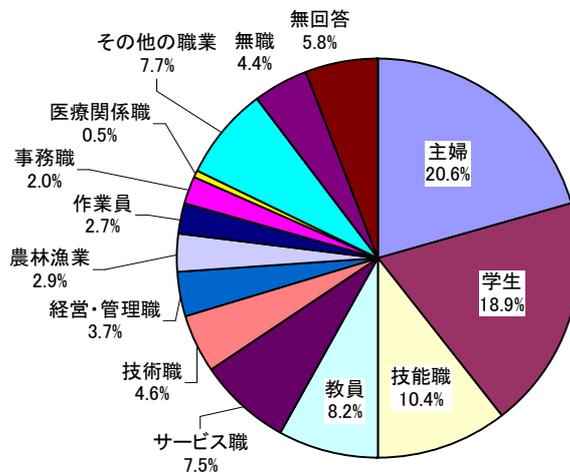
問 あなたは現在、どのような雇用形態で仕事をしていますか。

【現在の雇用形態 (N = 587)】



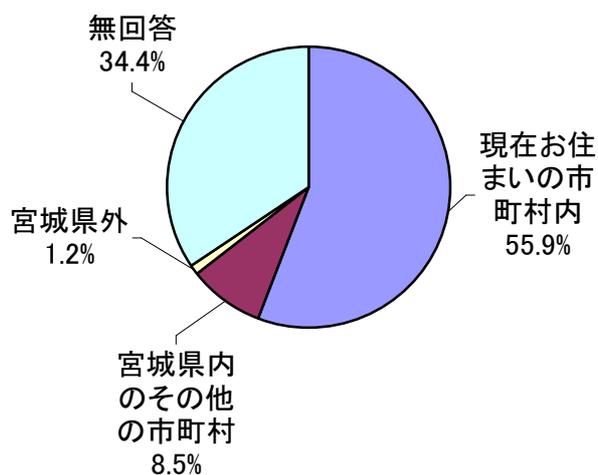
問 あなたの現在の職業 (主婦, 学生, パートタイマーを含む) は以下のどれにあたりますか。

【現在の職業 (N = 587)】



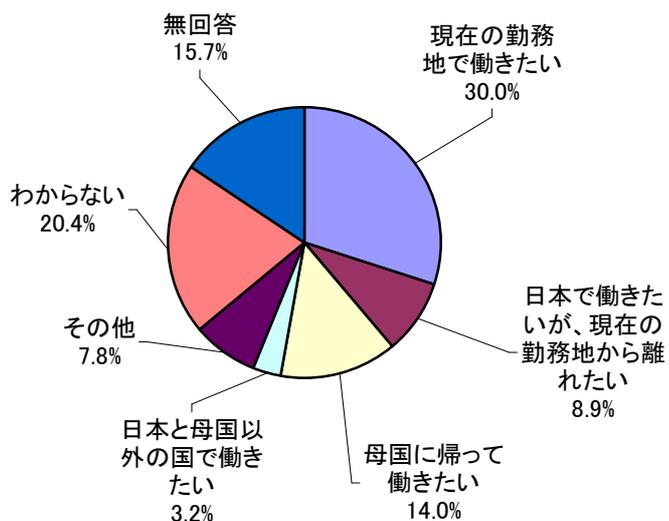
問 あなたは現在どこで働いていますか。

【現在の勤務地 (N = 587)】



問 あなたは今後、宮城県または日本で働こうと思っていますか。

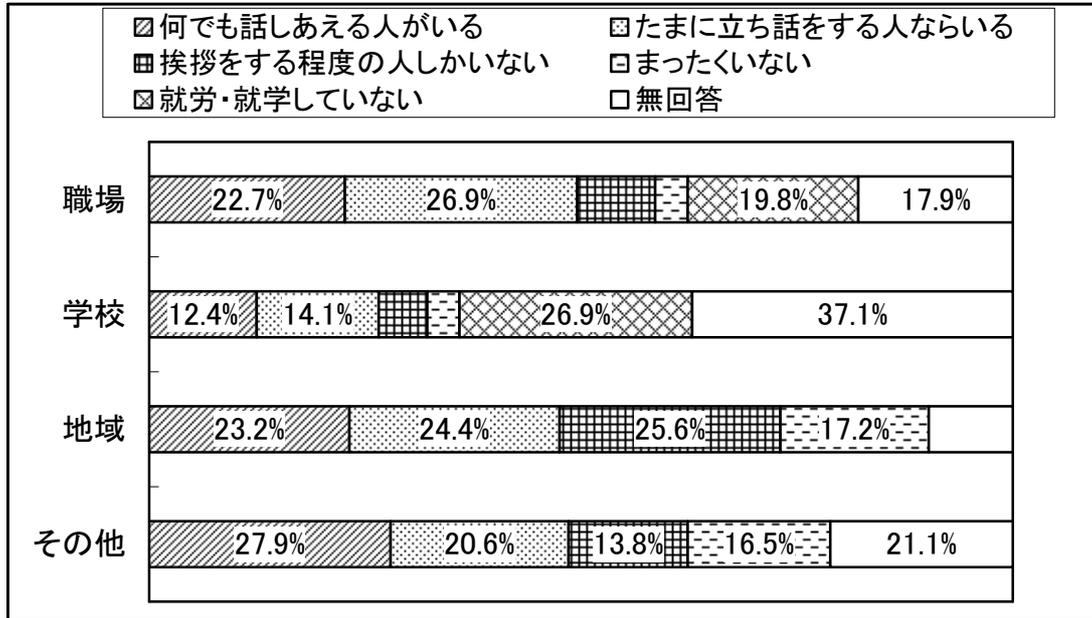
【今後の勤務地 (N = 587)】



(10) 社会生活一般

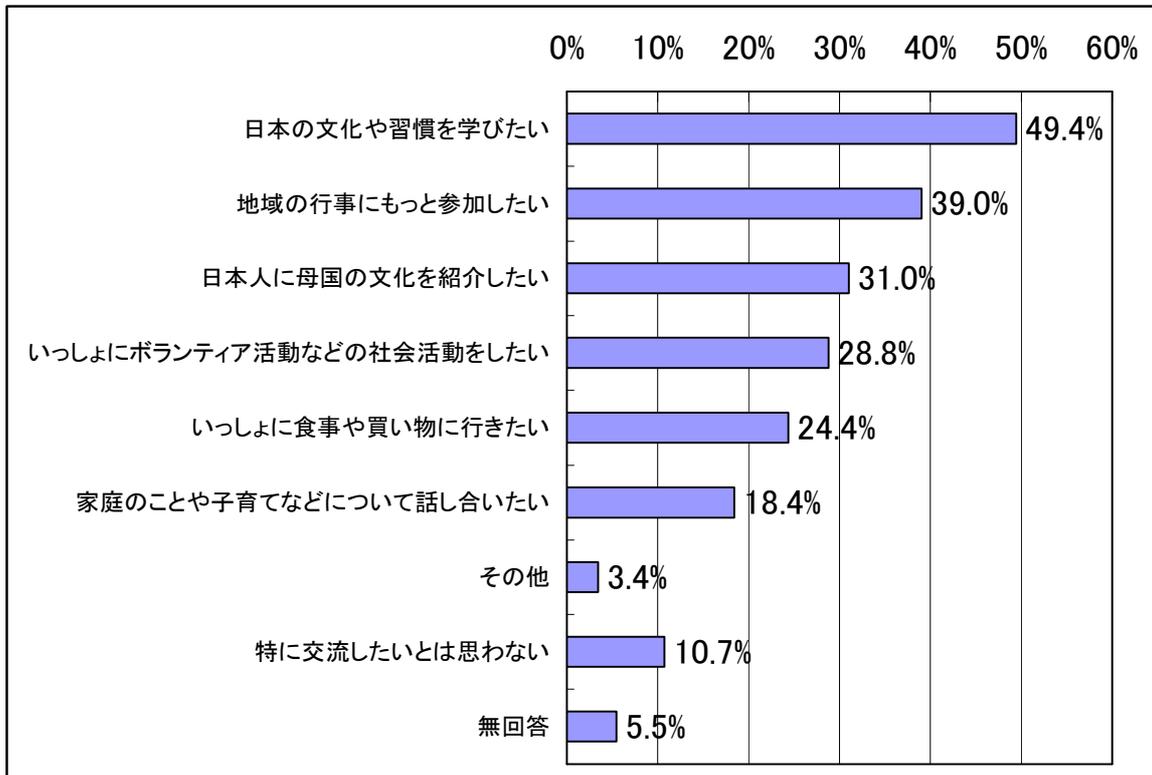
問 現在、あなたには、仲良くしている日本人はいますか。

【親しい日本人 (N=587)】



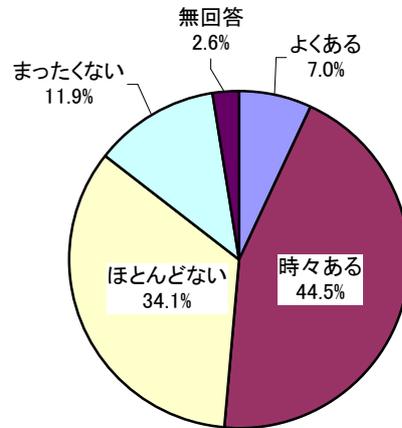
問 あなたは今後、地域の日本人とどのような交流をしたいと思いますか。(複数回答)

【日本人との交流 (N=587)】



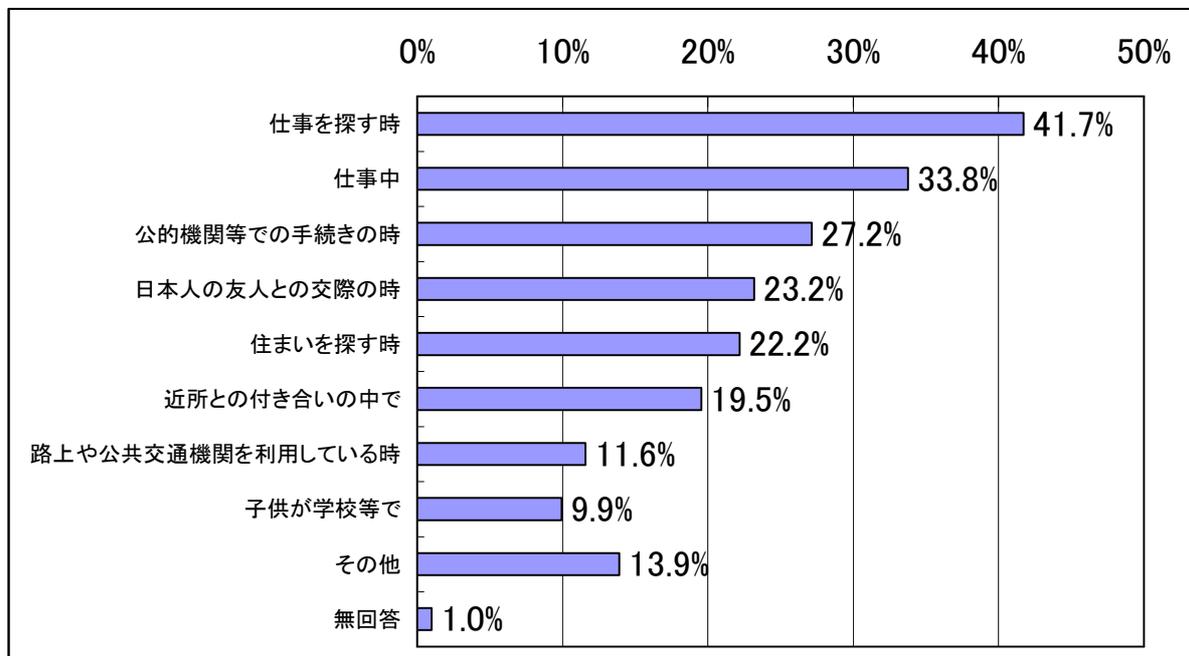
問 あなたは生活上、外国人だということでのいやな経験やつらい思いをしたことがありますか。

【いやな経験・つらい思い (N=587)】



問 それはどのようなときに感じましたか。(複数回答)

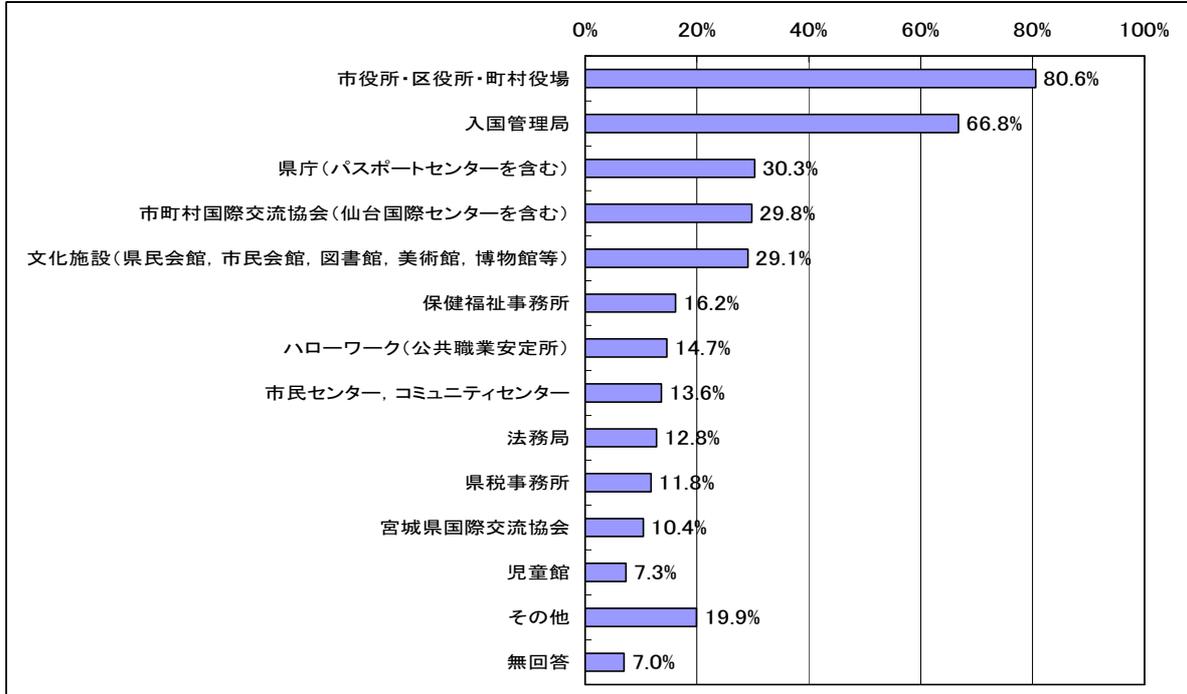
【いやな経験・辛い思いの具体的内容 (N=587)】



(11) 行政

問 あなたは、以下の施設を利用したことがありますか。(複数回答)

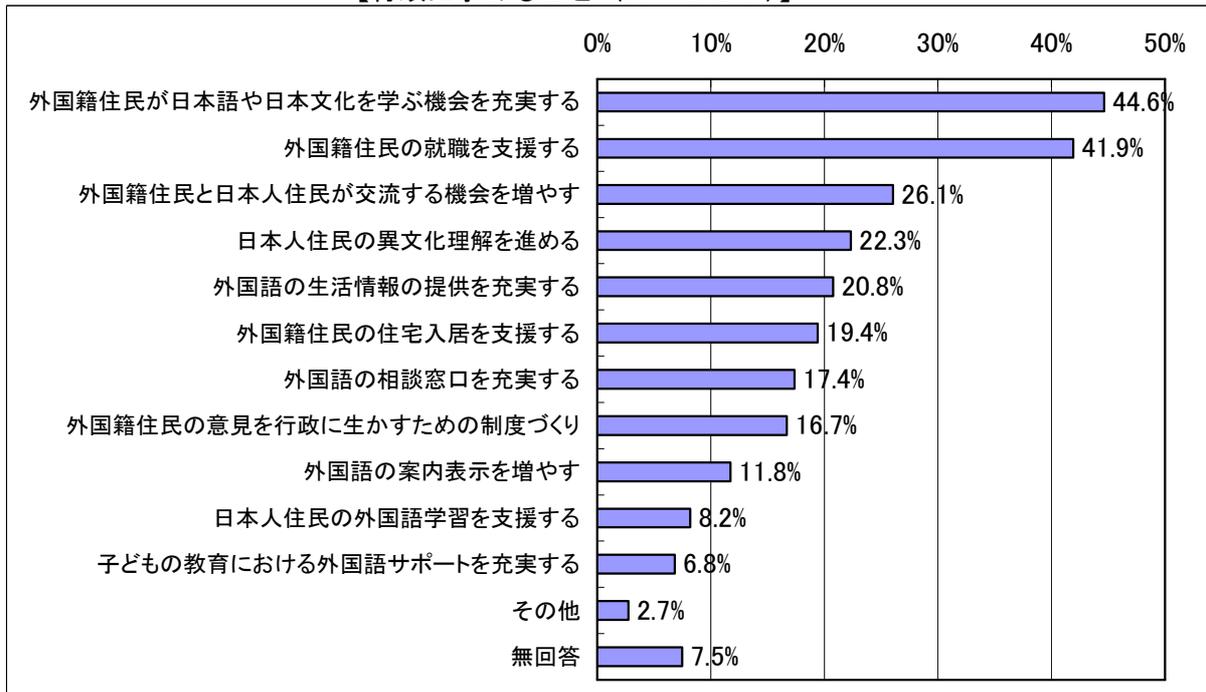
【行政施設の利用経験 (N = 587)】



問 在住する外国籍住民にとって暮らしやすいまちになるためには,

行政はどのようなことをすればよいと思いますか。(3つまで)

【行政に求めること (N = 587)】



## 4 まとめ

### (1) 基本属性について

---

- 回答者の国籍は、中国が40.4%（登録44.9%）、韓国・朝鮮が30.5%（登録27.8%）、フィリピンが3.9%（登録6.3%）、インドネシアが2.7%（登録1.6%）、タイが2.4%（登録1.5%）となっている。外国人登録状況と比較すると、中国はやや少なめ、韓国・朝鮮はやや多め、フィリピンは少なめ、インドネシアとタイはやや多めとなっている。
- 回答者の在留資格は、永住者が20.8%（登録21.6%）、留学が19.8%（登録12.8%）、日本人の配偶者等が14.7%（登録10.8%）、特別永住者が10.1%（登録14.1%）、研修が9.7%（登録5.8%）となっている。外国人登録状況と比較すると、永住者はほぼ同程度、留学、日本人の配偶者等、研修は多め、特別永住者は少なめとなっている。
- 回答者の性別は、男が35.1%（登録40.1%）、女が63.5%（登録59.9%）となっている。外国人登録状況と比較すると、男はやや少なめ、女はやや多めとなっている。
- 回答者の年齢は、20歳代が38.3%（登録35.1%）、30歳代が26.1%（登録23.6%）、40歳代が15.3%（登録15.6%）、50歳代が10.2%（登録8.4%）、60歳代が5.3%（登録3.5%）となっている。アンケートの調査対象には20歳未満が含まれていないことから、その分で登録割合を上回る年齢が多くなっている。

### (2) 日常生活の満足度について

---

- 総合的な満足度については、満足が34.4%、やや満足が44.5%となっており、8割近くの人が一定の満足感を持って生活している状況にある。逆に、不満は2.0%、やや不満は10.7%となっている。
- 個別の事柄の満足度については、住宅環境、医療福祉で比較的満足度が高く、約4人に3人が満足又はやや満足と回答している。一方で、家庭での育児、就労は満足度が低くなっており、満足又はやや満足と回答した人はともに4割前後で、就労においては3割近くが不満又はやや不満と回答している。

### (3) 言語について

---

- 話す能力については、不自由なく話せるが29.8%、だいたい話せるが38.0%、あまり話せないが21.1%、ほとんど話せないが9.0%となっている。
- 聞く能力については、不自由なく聞き取れるが30.0%、だいたい聞き取れるが43.6%、あまり聞き取れないが18.4%、ほとんど聞き取れないが5.6%となっている。

- 読む能力については、ひらがな、カタカナは8割以上が不自由なく読める又はだいたい読めるのに対して、漢字はあまり読めないが17.7%、ほとんど読めないが12.6%に上っている。
- 書く能力については、ひらがな、カタカナは8割前後が不自由なく書ける又はだいたい書けるのに対して、漢字はあまり書けないが19.4%、ほとんど書けないが15.5%に上っている。
- 日本語の学習状況については、必要ないが25.7%であるのに対して、現在学習しているが40.4%、学習したいが29.3%となっている。
- 日本語を学習していない理由については、勉強する時間がないが53.2%で最も多く、次いで近くに学べる場がないが28.5%、日本語教室や日本語学校の情報が無いが15.6%となっている。

#### (4) 情報について

---

- 生活に必要な情報の入手媒体については、テレビ・ラジオが最も多い51.3%で、次いでインターネットが48.7%、日本人の友人・知人が40.4%、母国出身の友人・知人が32.0%、職場・学校が31.9%となっている。

#### (5) 居住について

---

- 通算居住年数については、1年以上3年未満が2割強を占めており、1年未満、6ヶ月未満を合わせた3年未満が、4割以上となっている。
- 今後の居住予定については、ずっと宮城県に住み続けるが38.8%で最も多く、日本には永住するが宮城県に住み続けるかわからないが10.1%、将来は日本を離れるが27.3%、日本を離れるかどうかかわからないが14.1%となっている。なお、これには、在留資格ごとに大きな偏りが見られ、留学や研修、特定活動では、将来は日本を離れると回答している人の割合が高くなっている。

#### (6) 防災について

---

- 被災経験については、地震は57.9%、台風・洪水などの風水害は20.1%の人が経験しており、逆に経験したことがない人は33.9%となっている。
- 災害への備えについては、約6割が備えていないと回答している。なお、その理由には、災害への不安を感じないが最も多く、備える方法を知らないが続いている。

## (7) 医療・福祉について

---

- 健康保険の加入状況については、加入しているが 93.0%となっており、国民健康保険が 58.6%，社会保険・共済保険が 34.4%となっている。なお、在留資格の研修で未加入の割合が 2 割を超えている。
- 公的年金の加入状況については、加入しているが 54.0%となっており、在留資格の留学で未加入の割合が 9 割を超えている。
- 保健・医療・介護サービスの利用経験については、健康診査が 35.3%と最も多く、休日・時間外診療が 17.0%，各種がん検診が 14.7%，救急車が 12.3%となっている。また、利用したことがない人を含め無回答が 42.1%に上っている。
- 病院で困ったことについては、医療費が高すぎるが 18.4%で最も多く、次いで言葉が通じないが 14.1%となっている。また、特に困ったことはないが 36.5%となっている。

## (8) 育児・教育について

---

- 子どもがいる人の割合は 30.3%で、1 人いるが 17.7%，2 人いるが 10.4%となっている。
- 子育てで困っていることについては、悩みを相談できる相手がいないが最も多い 16.9%で、次いで情報の多くが日本語なのでわかりにくいと 16.3%となっている。
- 子どもの教育で困っていることについては、色々な費用が高いが最も多い 15.7%で、進路・進学について不安があるが次に多い 15.2%，学校との意思疎通がうまくいかないが 10.1%となっている。
- 母国語・母国文化の教育については、現在受けさせているが 35.4%で、今後受けさせたいが 32.0%，わからないが 15.7%となっている。なお、現在受けさせていない理由には、子どもが大きくなったら受けさせたいや、学べる場がないなどの意見が出ている。

## (9) 労働について

---

- 現在の雇用形態は、正社員が 21.8%，自営業が 8.7%，派遣社員が 6.1%，パートやアルバイトなどのその他が 23.7%，仕事をしていないが 34.6%となっている。
- 現在の職業は、主婦と学生がそれぞれ 2 割前後を占めているほか、工場労働者などの技能職が 10.4%，教員が 8.4%，サービス職が 7.5%，研究員などの技術職が 4.6%となっている。
- 現在の勤務地は、居住市町村内が 55.9%と最も多くなっており、仕事をしていない人などの無回答を除けば、85.2%が居住市町村内で勤務していることになる。なお、仙台市周辺の仙

台地域では、居住市町村外で勤務している人の割合が比較的高くなっている。

- 今後の勤務地については、現在の勤務地で働きたいが最も多い30.0%で、母国に帰って働きたいが14.0%、日本で働きたいが現在の勤務地からは離れたくないが8.9%、わからないが20.4%となっている。

## (10) 社会生活一般について

---

- 親しい日本人の有無については、地域において少ない傾向が見られ、地域で挨拶をする程度の人しかいない又はまったくいないが4割以上に上っている。
- 日本人との交流については、日本の文化や習慣を学びたいが49.4%で最も多く、地域の行事に参加したいが39.0%、母国の文化を紹介したいが31.0%となっており、逆に特に交流したいとは思わないは10.7%となっている。
- 外国人であるがゆえに、いやな経験、つらい思いをしたことについては、よくあるが7.0%、時々あるが44.5%、ほとんどないが34.1%、まったくないが11.9%となっている。その具体的な内容については、仕事を探すときが最も多い41.7%で、次いで仕事中心が33.8%、公的機関での手続のときが27.2%となっている。

## (11) 行政について

---

- 行政施設の利用経験については、市区役所、町村役場が最も多い80.6%で、次いで入国管理局が66.8%と、この二つが突出して高くなっている。なお、仙台市では、この二つに加え市町村国際交流協会（仙台国際センター）の利用割合も高くなっている。また、約4人に1人は行政施設の利用で困ることがあると回答しており、その内容には、書類の内容、書き方がわからない、窓口で言葉が通じないという意見が多く寄せられている。
- 行政に求めることについては、日本語や日本文化を学ぶ機会を充実するが44.6%と最も高く、次いで就職を支援するが41.9%、日本人住民と交流する機会を増やすが26.1%、日本人住民の異文化理解を進めるが22.3%と続いている。

平成 2 1 年度外国人県民アンケート 調査結果報告書（概要版）

平成 2 2 年 8 月

【編集・発行】 宮城県経済商工観光部国際経済・交流課  
〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目 8 番 1 号  
TEL 022-211-2972 FAX 022-268-4639  
E-mail kokusai@pref.miyagi.jp  
URL <http://www.pref.miyagi.jp/kokusai/>

【協力】 東北工業大学ライフデザイン学部経営コミュニケーション学科